

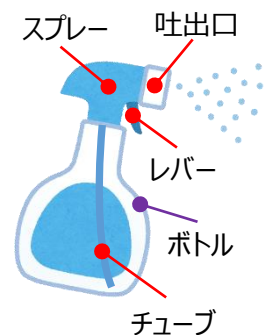


## スプレー・トリガー製品を上手に使う

簡単に広い面積に吹き付けられる、使用方法に定められた適量を出すことができるスプレー・トリガー製品が増えています。使いたいところへ片手で操作もでき、とても便利な製品ですが、正しく使うためには注意することがあります。思わぬ事故に遭わないためにスプレー・トリガー製品を上手に使う注意点をまとめました。



スプレー・トリガー製品はボトルに中味の液体が入れられて、このボトルにスプレーやトリガーが装着されています。レバー（トリガー）を引くと、ボトルの中にあるチューブが中味の液体を吸い上げます。そして、スプレーの場合は、吐出口から細かな霧状に吹き出して対象となるモノの上に一定量で均一に拡がり、トリガーの場合は、一定量を取り出すことができます。



スプレー・トリガー製品の容器は、内容液の特性や用途に合わせて設計されています。中味の液体に含まれる成分や液の性質である、粘り気や液性（酸性またはアルカリ性）に合わせて工夫がされており、それぞれ最適な専用のスプレー・トリガー部分が使われています。特に、内容液が強い酸性やアルカリ性の場合や、次亜塩素酸ナトリウムなどの酸化剤を含む場合は容器の材質、強度、機能性等が慎重に検討され、使用時だけでなく保管時にも中味が変わらず安全が保たれる設計がされています。また、容器には用途、使い方、成分、使用上の注意、応急処置など重要な情報が表示されています。下記の点に必ず注意をしましょう。

### ○目より高い位置へのスプレーには注意

目線より上に向かって吹きかけると、自分や人に直接降りかかるおそれがあります。目に入る、鼻や口から吸い込むなど思わぬ事故を起こしかねません。製品の用途に合わせ、高い位置に吹きつけ拡げたい場合は、モップや布などに中味を吹きつけてから拭くなど、飛散しない工夫もしましょう。

### ○市販の容器には移し替えない

スプレー容器は、使用にあたり適切な量が出ることで、空気中に必要以上に拡がらないよう中味に合わせて設計がされています。例えば、カビ取り剤など泡で出るように設計されている製品を別のスプレー容器に詰め替えると、泡にならず液が出て飛び散る場合があります。また、液性（酸性またはアルカリ性）などの影響を受けて、スプレーの部分の材質が変質して作動しなくなる場合や、最初は使うことができても時間の経過とともに容器の材質に影響して液もれなどが起こることもあるのでやめましょう。使うのは内容液だからと考えて、専用容器以外への移し替え使用は、危険を伴うことがあります“厳禁”です。

### ○スプレー・トリガー容器には寿命があります

使っているうちにレバーの周りから液だれを起こす、泡にならない等の不具合が出てきたら、スプレー・トリガー容器本体ごとの買い替えをお勧めします。スプレー・トリガーの部分は使われるプラスチックが何度も操作しているうちに、力や中味の液体の影響で少しずつ部品に変形や亀裂などが生じていきます。その状況が進むと正常に作動しなくなることや液漏れが起きるようになってしまいます。

### スプレー・トリガー容器劣化のサイン

- 泡で出る製品なのに泡になりにくく液が垂れてしまう
- 液が出なくなる
- レバーを伝って液がもれるようになる
- レバーが戻らなくなる、折れる、外れる
- 吐出口の先端部が外れる
- 予期せぬ方向に液が飛ぶ
- スプレー・トリガー部分がボトルから抜けて外れる

このような不具合が出たら、劣化のサインです。

食品に消費期限があるように、電気製品や家庭用の製品にも寿命があります。<sup>1)</sup> <sup>2)</sup> <sup>3)</sup> 家庭用製品を安全に使うため、劣化のサインが出たら、新しいスプレー・トリガー品への買い替えをお勧めします。

定期的に新しいスプレーに！

### 参考にした情報

1) 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について；消費者庁

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer\\_safety/cms202\\_210910\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety/cms202_210910_01.pdf)

2) 「扇風機等の家電製品の経年劣化事故に御注意ください」；消費者庁

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/release/pdf/160614kouhyou\\_1.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/pdf/160614kouhyou_1.pdf)

3) 扇風機やエアコンの思わぬ火災を防ぐには？；独立行政法人製品評価技術基盤機構

<https://www.nite.go.jp/data/000091549.pdf>